

歩掛参考見積募集要領
(見積名称：浦山ダム管理施設補修設計業務(仮称))

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年1月21日

独立行政法人水資源機構
荒川ダム総合管理所
所長 山中 充治
(公印省略)

1. 目的

この歩掛参考見積の募集は、荒川ダム総合管理業務で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争(指名競争)参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」(平成6年5月31日付け6経契第443号)に基づき、利根川水系及び荒川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者、資機材の人数等を記載して提出して下さい。なお、参考見積書の様式は添付のEXCEL様式(荒川ダム総合管理所ホームページよりダウンロードできます)を使用して下さい。
- (2) 提出期間：令和8年1月21日(水)から令和8年2月3日(火)まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時から16時まで
- (3) 提出先
独立行政法人水資源機構荒川ダム総合管理所 所長 山中 充治 宛
【担当】総務課 佐古田
〒369-1801 埼玉県秩父市荒川久那 4041
TEL 0494-23-1431 FAX 0494-23-7912
電子メールアドレス：nyukei_arakawa@water.go.jp

(4) 提出方法

書面は持参、電子メール、郵送又はファクシミリ(社印があること)により提出するものとします。

※押印は「本件責任者及び担当者」の氏名及び連絡先を明記することで省略することができます。

4. 参考見積内容

(1) 業務基本条件

浦山ダムにおける管理施設（洪水吐き導流部、堤体左岸下流法面、選択取水設備建屋、貯水池左岸進入路、地すべり観測設備）の補修及び点検。

(2) 業務作業項目、作業内容

別紙の「参考見積仕様書」のとおりとします。

(3) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲

① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（2）「業務作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な技術者、資機材の人数等を徴取します。

(4) 技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和7年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

(1) 提出期間：令和8年1月21日（水）から令和8年1月26日（月）まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時から16時まで

(2) 提出場所：3. (3)に同じ。

(3) 提出方法：3. (4)に同じ。

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

(1) 閲覧期間：令和8年1月29日（木）から令和8年2月3日（火）まで

(2) 閲覧方法：荒川ダム総合管理所ホームページに掲載します。

7. 参考見積条件

有効期限：令和9年3月31日

8. 参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

9. ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

10. その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

参考見積仕様書

件名：浦山ダム管理施設補修設計業務（仮称）

第1節 業務目的

本業務は、浦山ダムの管理施設（洪水吐き導流部、堤体左岸下流法面、選択取水設備建屋、貯水池左岸進入路、地すべり観測設備）の補修設計及び点検などを実施するものである。

第2節 業務内容

2-1 設計計画

業務目的及び業務内容を把握したうえで、共通仕様書第1章第12節に基づき、業務計画書を作成するものとする。

2-2 現地踏査

設計に必要な現地状況を把握するために現地踏査を行うものとする。

2-3 洪水吐き導流部補修設計

(1) 導流部現地調査

洪水吐き導流部の水平打継目などにおいて、コンクリートの剥離・欠損、エフロレンスの抽出及び漏水が確認されている。この水平打継目などの補修を行うために必要な現地調査（クラック幅や深さ測定）などを行うものとする。

なお、減勢工内に水が貯まっているが、調査を行う時には、必要に応じ排水を実施する予定である。

(2) 導流部補修設計

導流部現地調査結果を基に、水平打継目などの補修設計を行うものとする。

なお、補修箇所は、導流部のため高速流が流れることから、洪水時に補修箇所が剥がれないように、考慮して設計を行うものとする。

(3) 設計図の作成

次表の設計図を作成するものとする。

設計図名称	縮尺	備考
平面図	1/500 又は 1/1,000	
縦断図	V=1/100 H=1/500	
標準断面図	1/100	
横断図	1/100	
構造一般図	1/50～1/100	
詳細図	1/10～1/30	
その他調査職員が指示する図面		

(4) 施工計画書の作成

経済的かつ合理的に工事を行うために必要な施工計画を作成するものとする。

(5) 数量計算

数量計算は、「土木工事数量算出要領（案）：国土交通省」により行うものとし、算出した結果は、「土木工事数量算出要領数量集計表（案）：国土交通省」に基づき、工種別にとりまとめるものとする。

なお、記載のないものは、調査職員が指示する方法によりとりまとめるものとする。

(6) 概算工事費算出

共通仕様書第 2 章第 11 節に基づき、概算工事費を算定するものとする。

(7) 照査

正確性、整合性等の照査を行うものとする。

(8) 報告書作成

業務の成果として作成した成果をとりまとめ、報告書を作成するものとする。また、成果の概要を抽出・整理した業務概要書を作成するものとする。

2-4 堤体左岸下流コンクリート法面点検

堤体左岸下流側は、ダム下流から天端まで登れるようにフーチング部分を一般開放している。堤体左岸下流コンクリート法面において、水平打継目や横継目などの補修した箇所が、経年劣化により、補修材が剥離し落下する恐れのある箇所が確認されている。

このため、堤体左岸下流コンクリート法面全体を点検し、補修材などが剥離し落下する恐れのある箇所について撤去するものとする。撤去したモルタル殻などは、1 箇所にとりまとめておくものとする。

2-5 選択取水設備建屋補修設計

(1) 建屋現地調査

選択取水設備建屋の屋根は、中央部が凹んでおり、雨水が貯まる状況となっているため、雨漏りが生じ、選択取水設備の屋内に落ちている状況である。このため、屋根の現地調査や凹みなどの測定を行い、雨漏りの原因を特定するものとする。

(2) 建屋補修設計

選択取水設備建屋現地調査結果を基に補修設計を行うものとする。

なお、補修設計を実施する前に事前に検討されていた補修検討内容を確認するとともに、屋根の補修を行うための仮設計画も含め検討するものとする。

(3) 設計図の作成

次表の設計図を作成するものとする。

設計図名称	縮 尺	備 考
平面図	1/500 又は 1/1,000	
断面図	1/100	

構造一般図	1/50～1/100	
詳細図	1/10～1/30	
その他調査職員が指示する図面		

(4) 施工計画書の作成

経済的かつ合理的に工事を行うために必要な施工計画を作成するものとする。

(5) 数量計算

数量計算は、「公共建築数量積算基準：国土交通省」によりとりまとめるものとする。

なお、記載のないものは、調査職員が指示する方法によりとりまとめるものとする。

(6) 概算工事費算出

共通仕様書第2章第11節に基づき、概算工事費を算定するものとする。

(7) 照査

正確性、整合性等の照査を行うものとする。

(8) 報告書作成

業務の成果として作成した成果をとりまとめ、報告書を作成するものとする。また、成果の概要を抽出・整理した業務概要書を作成するものとする。

2-6 貯水池左岸進入路設計

(1) 左岸進入路設計

ダム左岸上流に設置してある貯水池左岸進入路は、清水バイパスの設置に伴い道路が寸断されている。このため、清水バイパスに影響が出ないように進入路の設計を行うものとする。進入路は、現地状況に合わして大幅な改変が出ないように設計を行うものとする。

(2) 設計図の作成

次表の設計図を作成するものとする。

設計図名称	縮 尺	備 考
平面図	1/500 又は 1/1,000	
縦断図	V=1/100 H=1/500	
標準断面図	1/100	
横断図	1/100	
構造一般図	1/50～1/100	
詳細図	1/10～1/30	
その他調査職員が指示する図面		

(3) 数量計算

数量計算は、「土木工事数量算出要領（案）：国土交通省」により行うものとし、

算出した結果は、「土木工事数量算出要領数量集計表（案）：国土交通省」に基づき、工種別にとりまとめるものとする。

なお、記載のないものは、調査職員が指示する方法によりとりまとめるものとする。

(4) 概算工事費算出

共通仕様書第2章第11節に基づき、概算工事費を算定するものとする。

(5) 照査

正確性、整合性等の照査を行うものとする。

(6) 報告書作成

業務の成果として作成した成果をとりまとめ、報告書を作成するものとする。また、成果の概要を抽出・整理した業務概要書を作成するものとする。

2-7 地すべり観測設備復旧設計

(1) 地すべり観測設備復旧設計

浦山ダムの地すべりブロック(R-7)については、自動観測を行っているが、自動観測が中止になるため、データの取得については、現地から直接取得することに変更する予定である。このため、設置するロガー等の機器仕様及び設置構造について、設計を行うものとする。また、管理所通信室に設置してある自動観測設備の撤去範囲などについて検討を行うものとする。

(地すべりブロック(R-7)自動観測データ取得内容)

計器名	計器数	備考
垂直伸縮計	1基	
地盤伸縮計	4基	
地盤傾斜計	4基	

(2) アンカー荷重計点検の事前調査

地すべりブロック(R-7)に設置されているアンカー荷重計(4箇所)の健全度調査を行うために必要な予備調査及び初期点検を行うものとする。予備調査は、設計データや地質調査資料などのとりまとめを行い、初期点検はアンカー施工箇所のカルテや施工全体の外観変状調査、アンカー個別カルテの作成を行うものとする。

今後、アンカー詳細調査やリフトオフ試験を予定しており、調査や試験を実施するために必要な試験計画書を作成するものとする。また、アンカー荷重計の場所は、平場が無い場合ため仮設足場や資材運搬方法も含めて作成するものとする。

(3) 図面電子化作成

地すべりブロックの平面図及び横断図の紙データを、電子化(CAD)するものとする。

(予定している電子化数量)

区分	枚数	備考
平面図	17枚	
断面図	34枚	

(4) 設計図の作成

次表の設計図を作成するものとする。

設計図名称	縮 尺	備 考
平面図	1/500 又は 1/1,000	
標準断面図	1/100	
構造一般図	1/50～1/100	
詳細図	1/10～1/30	
その他調査職員が指示する図面		

(5) 概算工事費算出

共通仕様書第2章第11節に基づき、(1)にかかる概算工事費を算定するものとする。
また、(2)で検討したアンカー詳細調査及びリフトオフ試験（仮設含む）の概算調査費について算定するものとする。

(6) 照査

正確性、整合性等の照査を行うものとする。

(7) 報告書作成

業務の成果として作成した成果をとりまとめ、報告書を作成するものとする。また、成果の概要を抽出・整理した業務概要書を作成するものとする。

－以上－

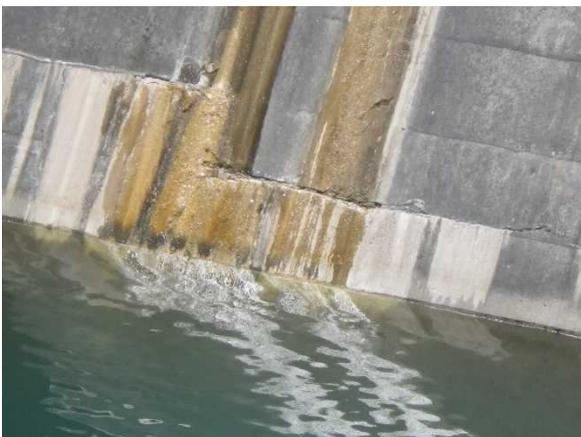
洪水吐き導流部補修設計



ダム下流全景



導流部劣化状況



導流部劣化状況

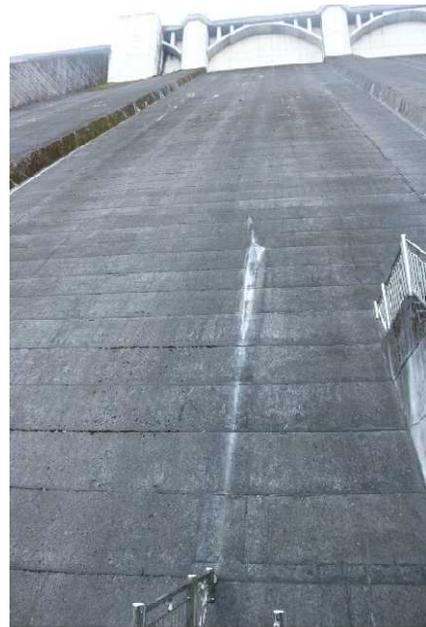
堤体左岸下流コンクリート法面点検



ダム下流全景



堤体左岸下流法面状況



堤体左岸下流法面劣化状况

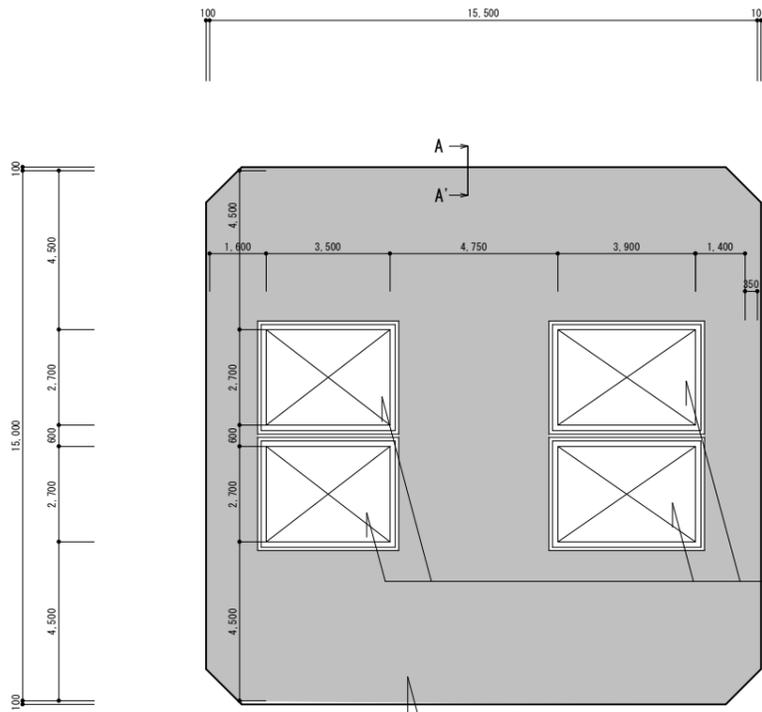
選択取水設備建屋補修設計



選択取水設備全景



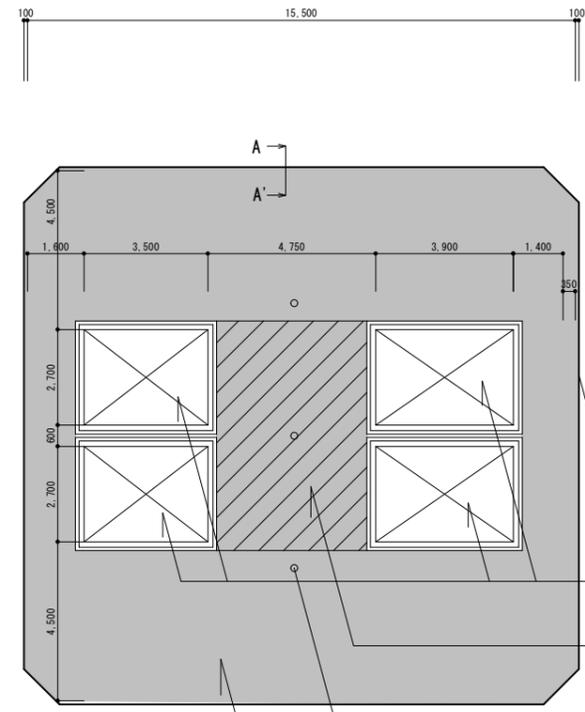
選択取水設備建屋



ステンレス防水 t=0.4 【撤去】

搬入口蓋(ステンレス製) 3,500×2,700 計2箇所
(3,900×2,700) 計2箇所 【取外し】

屋上平面図(改修前) S=1/100



立下り端末部: アルミ製雨仕舞材 H=43 【新設】 四方共

搬入口蓋(ステンレス製) 3,500×2,700 計2箇所
(3,900×2,700) 計2箇所 【再取付】

陥没部: 高反射高耐久保護塗料 【新設】
改質アスファルトシート防水 AS-J1 【新設】
水系ゴムアスファルト系下地調整材 t=50程度 【新設】
水性改質アスファルト系仮防水 t=1.0 【新設】

脱気筒 計3ヶ所 【新設】
ステンレス製
※風荷重により破壊等のおそれがないか検討した資料を提出すること。

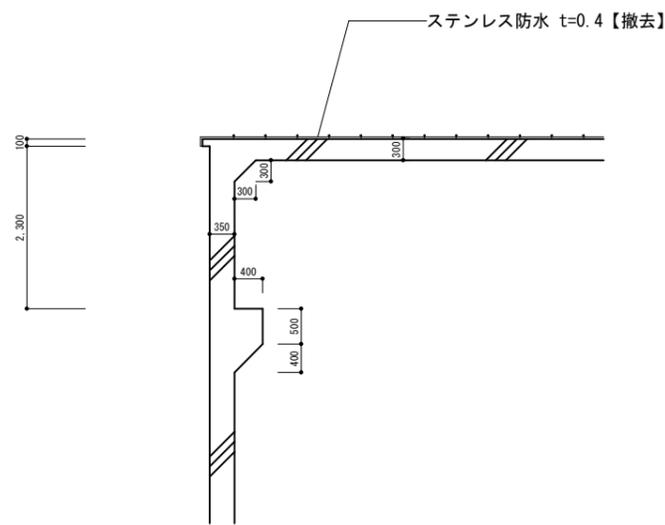
平場: 高耐久高反射保護塗料 【新設】
改質アスファルトシート防水 AS-J1 【新設】
水性改質アスファルト系仮防水 t=1.0 【新設】

屋上平面図(改修後) S=1/100

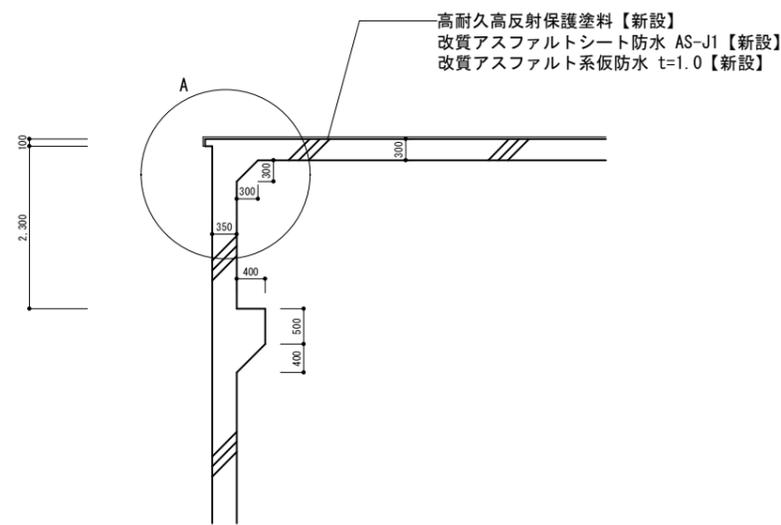
■ : 撤去・新設範囲を示す。

※【特記】 無き事項は既存のまま

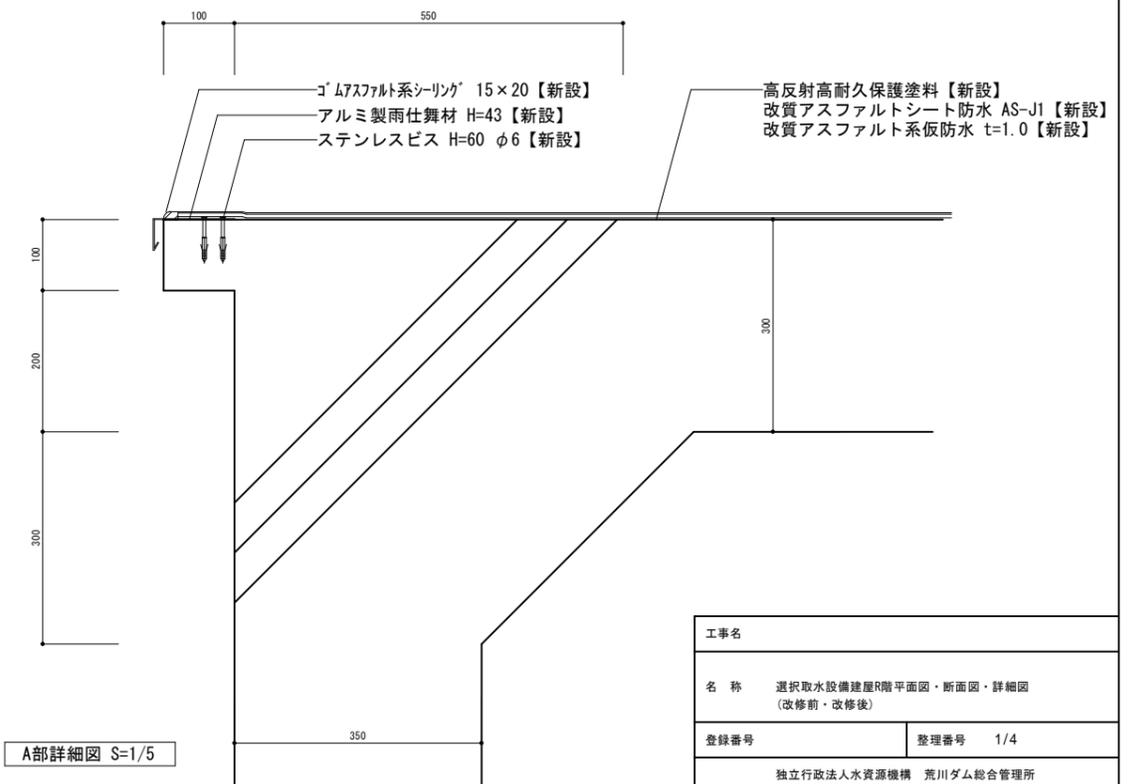
【参考仕様】
高反射高耐久保護塗料 田島ルフィング SPサーコート 同等品
高耐久保護塗料 田島ルフィング OTコートシリコン 同等品



A-A' 断面図(改修前) S=1/50

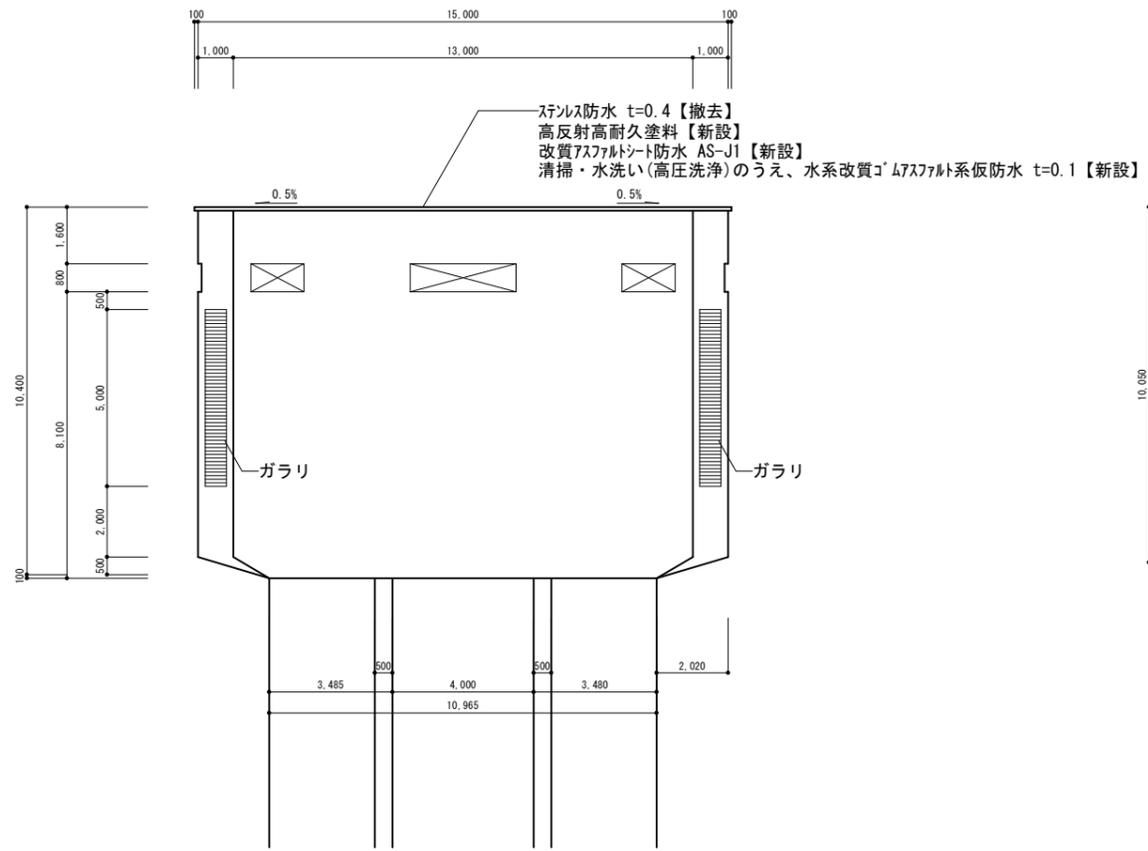


A-A' 断面図(改修後) S=1/50

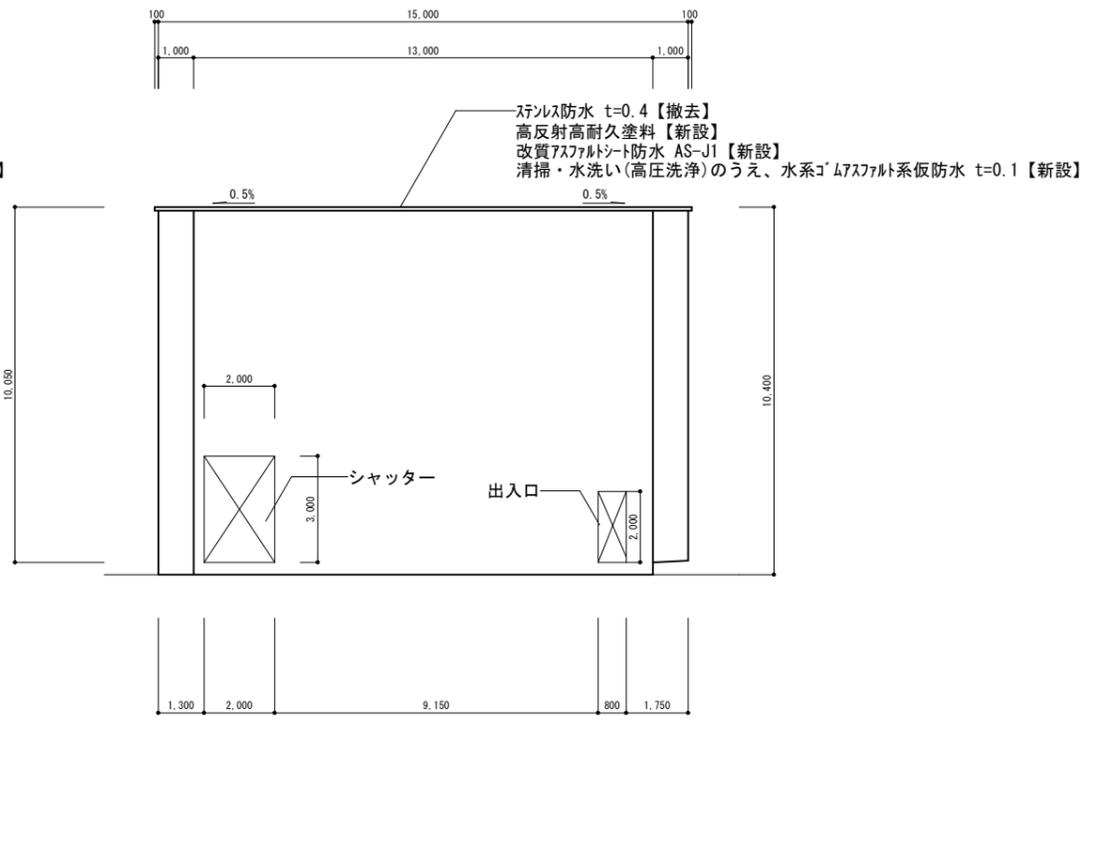


A部詳細図 S=1/5

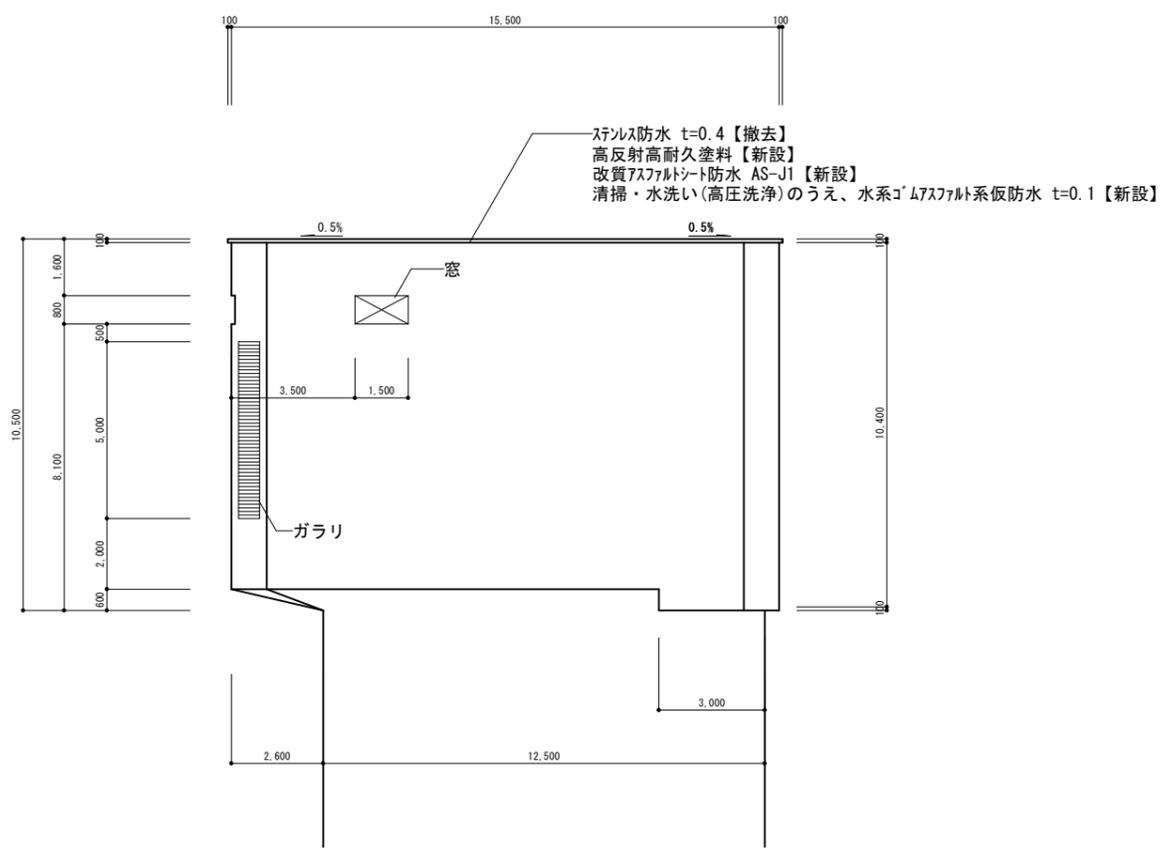
工事名	
名称	選択取水設備建屋R階平面図・断面図・詳細図 (改修前・改修後)
登録番号	整理番号 1/4
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所	



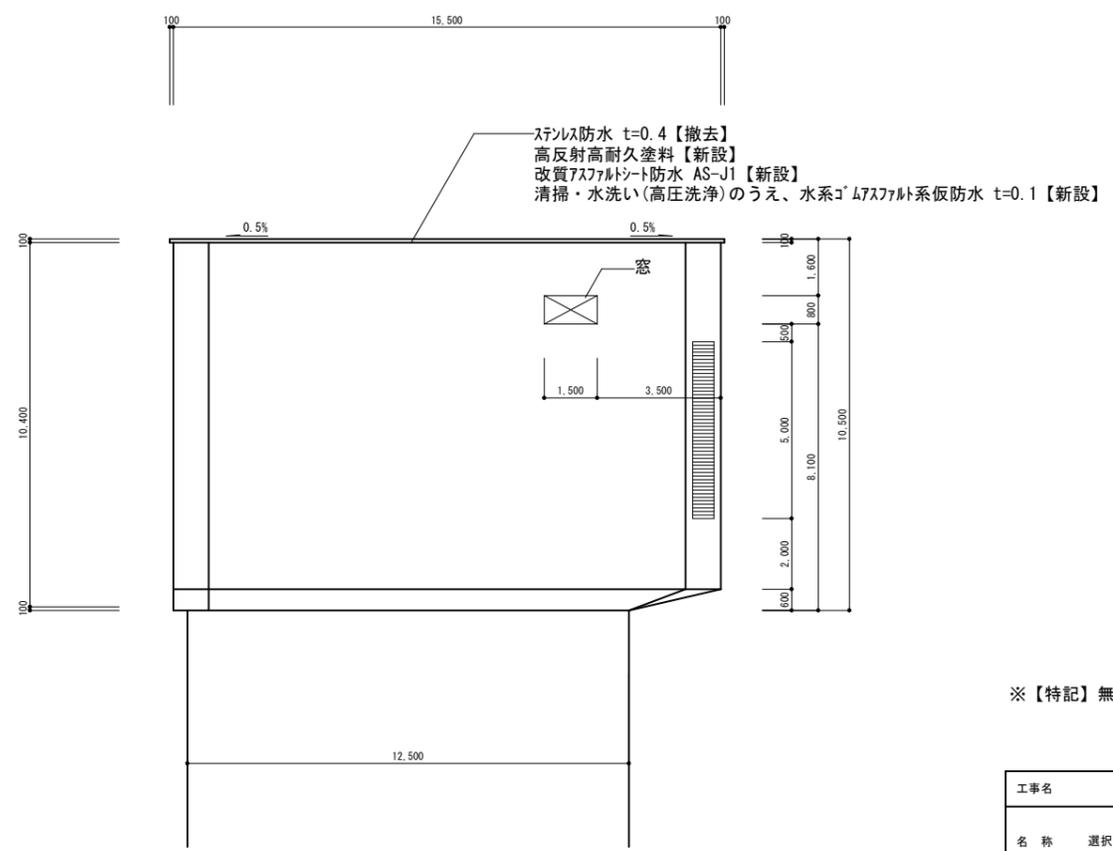
上流面立面図 S=1/100



下流面立面図 S=1/100



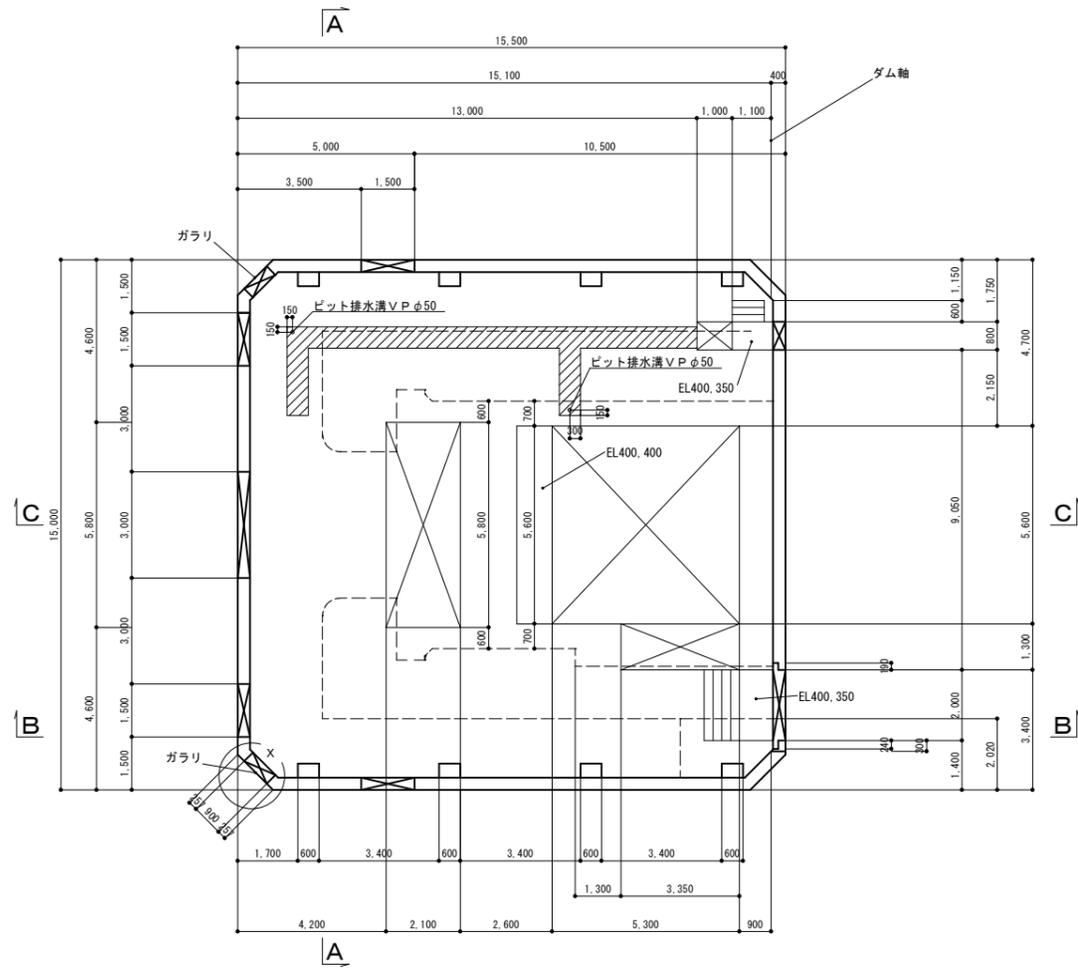
右岸側側面立面図 S=1/100



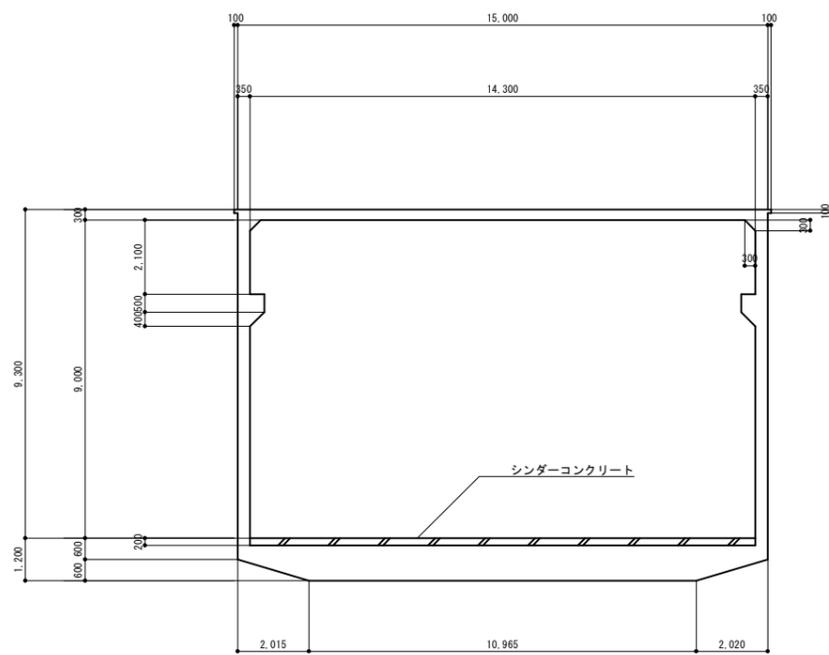
左岸側側面立面図 S=1/100

※【特記】無き事項は既設のままとする。

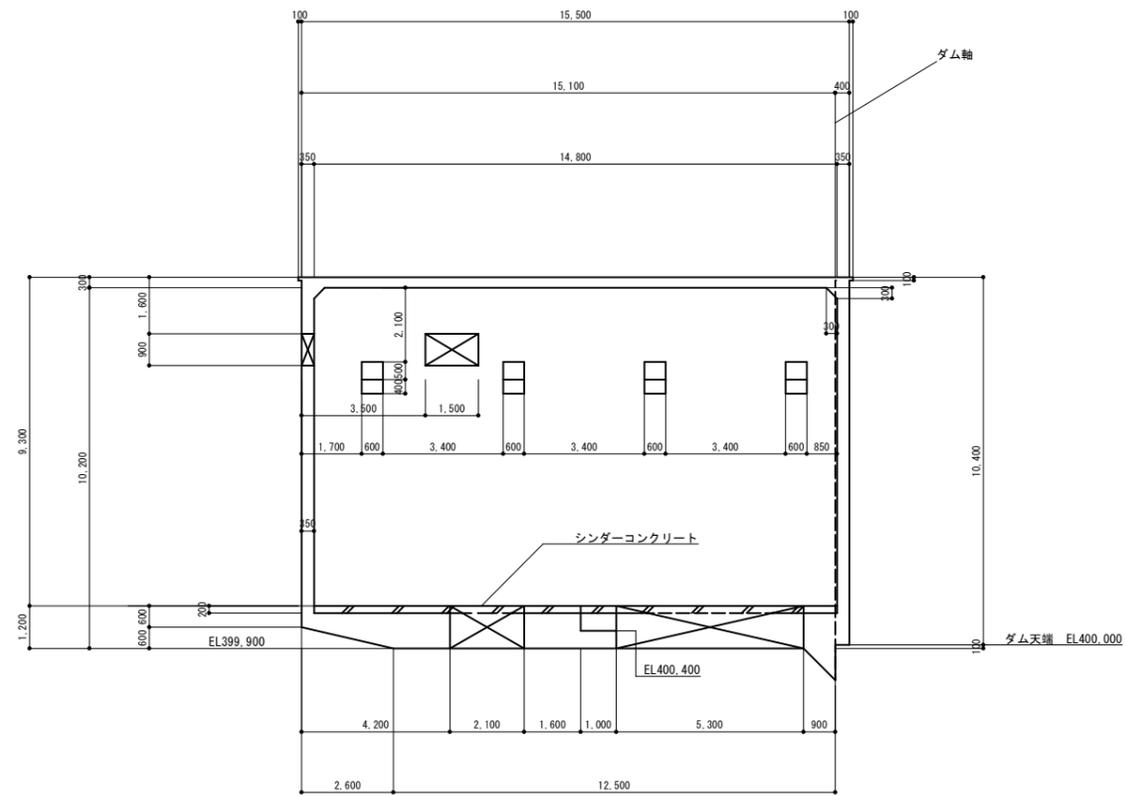
工事名	
名称	選択取水設備建屋立面図(改修前・改修後)
登録番号	整理番号 2/4
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所	



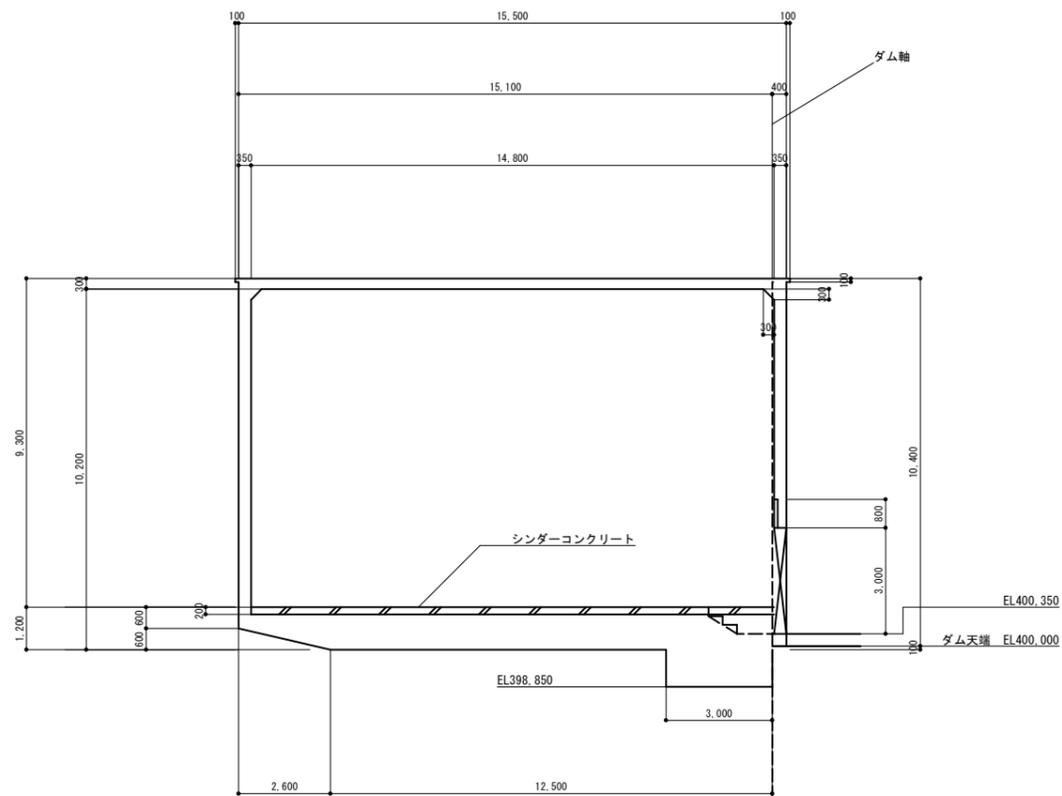
平面図 S=1/100



A-A断面図 S=1/100

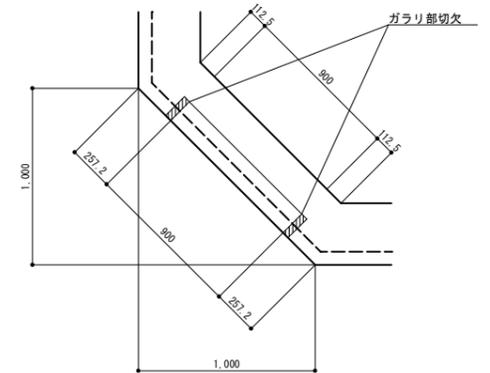


B-B断面図 S=1/100

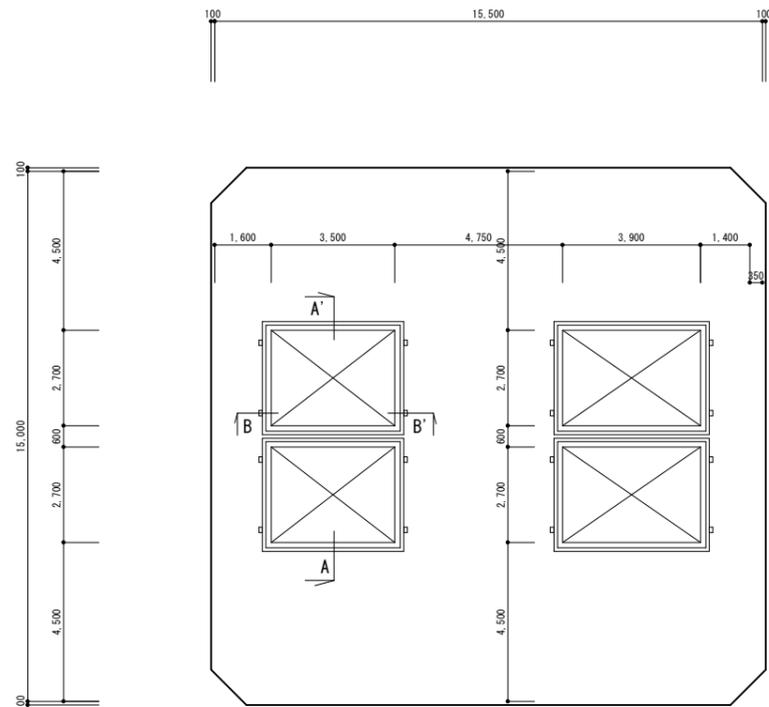


C-C断面図 S=1/100

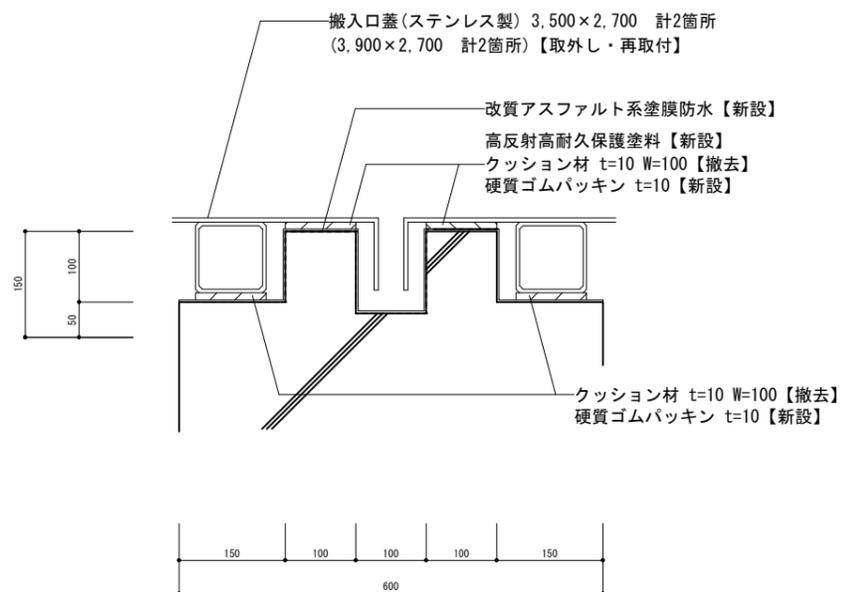
X部詳細 S=1/20



工事名	
名称 選択取水設備建屋平面図・断面図	
登録番号	整理番号 3/4
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所	

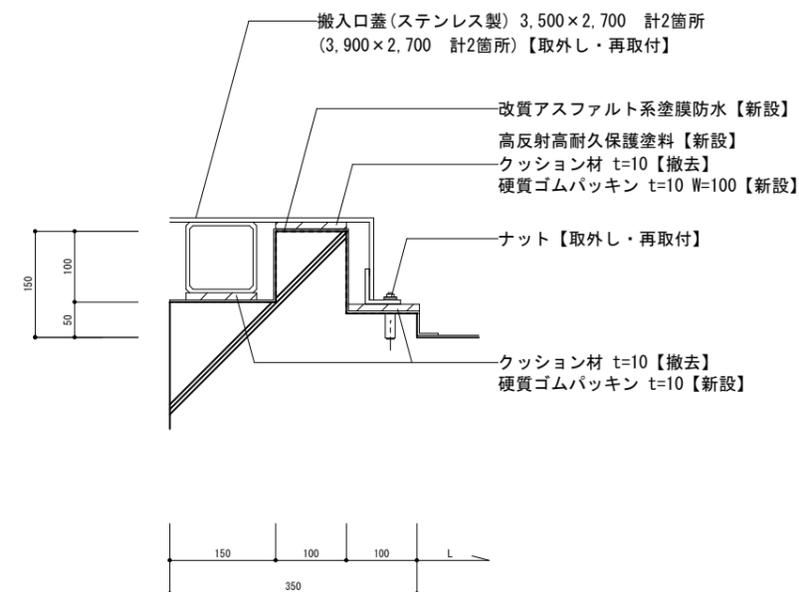


屋上平面図 S=1/100



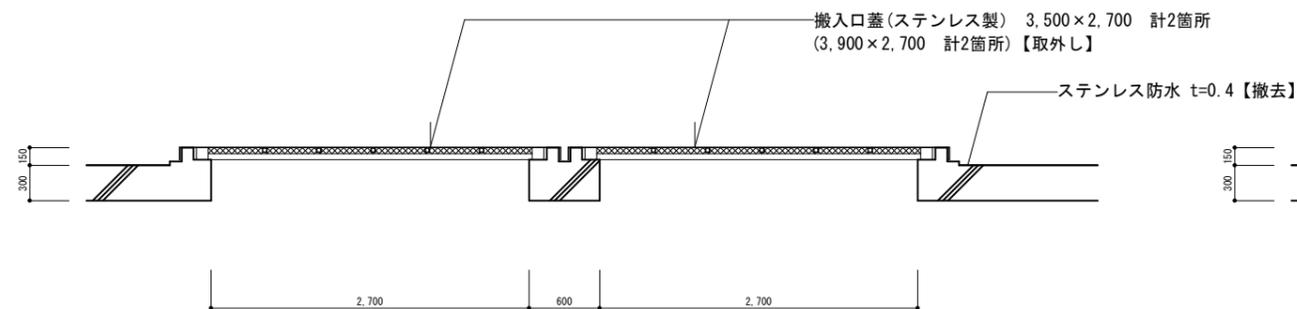
A部詳細図 S=1/5

※【特記】無き事項は既存のまま
※搬入口蓋重量 (3,900×2,700) 約1.3t

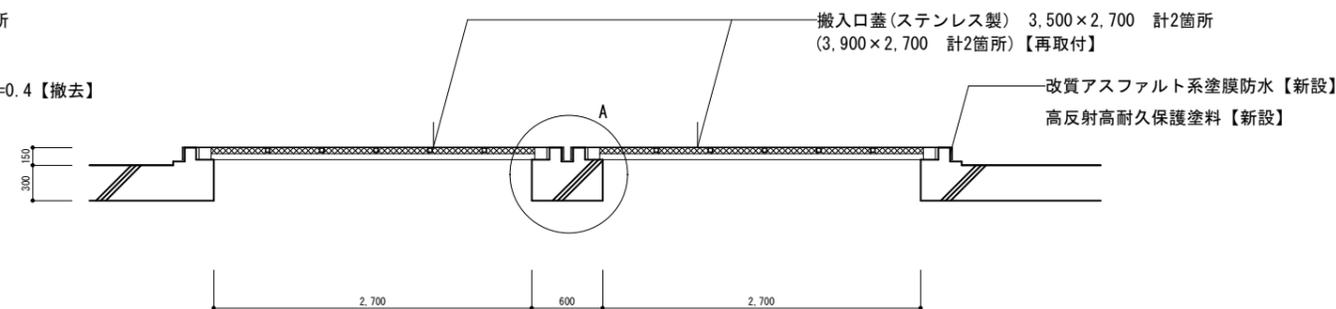


B部詳細図 S=1/5

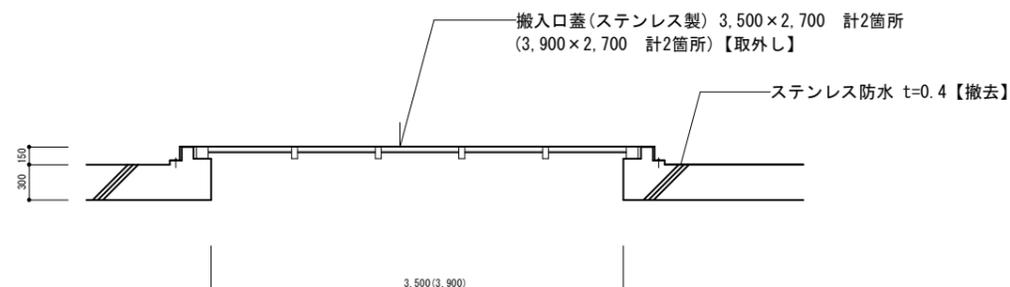
※【特記】無き事項は既存のまま



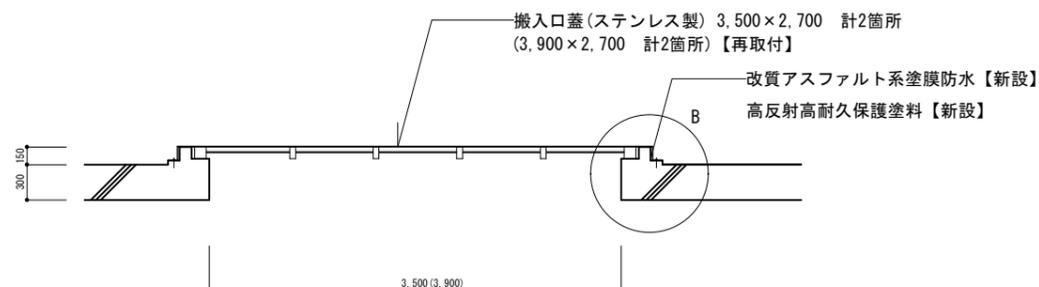
A-A'断面図 (改修前) S=1/30



A-A'断面図 (改修後) S=1/30



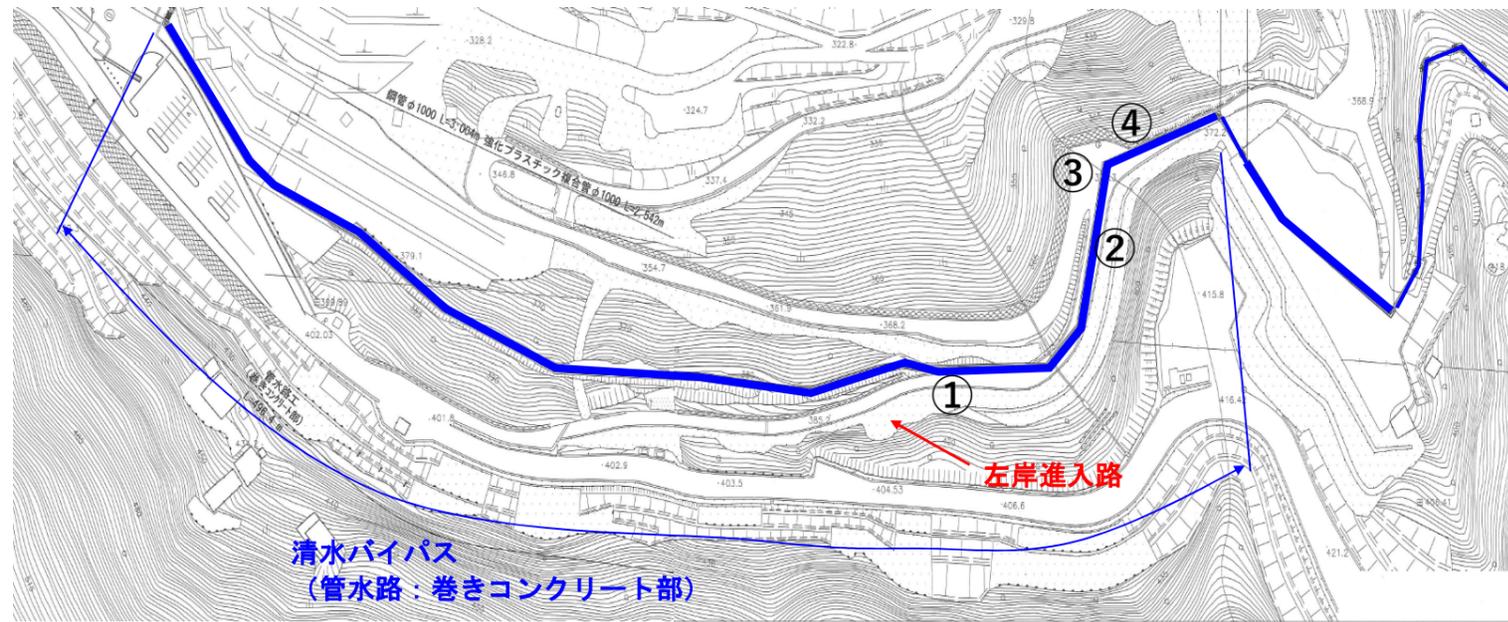
B-B'断面図 (改修前) S=1/30



B-B'断面図 (改修後) S=1/30

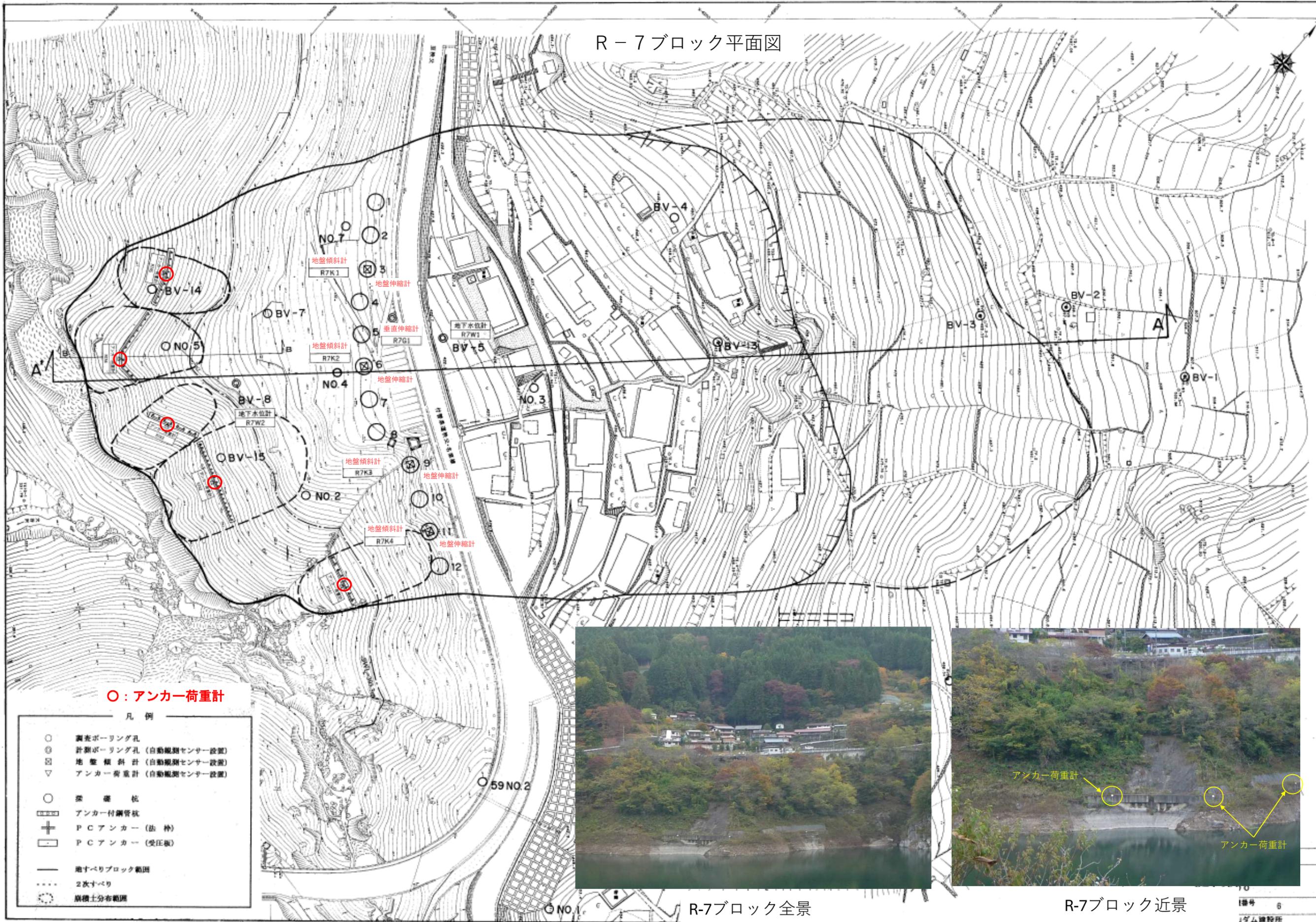
工事名	
名称	選択取水設備建屋搬入口蓋廻り詳細図 (改修前・改修後)
登録番号	整理番号 4/4
独立行政法人水資源機構 荒川ダム総合管理所	

貯水池左岸進入路平面図



貯水池左岸進入路全景

R-7ブロック平面図



○ : アンカー荷重計

凡例

- 調査ボーリング孔
- ⊙ 計測ボーリング孔 (自動観測センサー設置)
- ⊗ 地盤傾斜計 (自動観測センサー設置)
- ▽ アンカー荷重計 (自動観測センサー設置)
- 梁 礎 杭
- ▬ アンカー付鋼管杭
- ⊕ PCアンカー (法 枠)
- ▭ PCアンカー (受圧板)
- 地すべりブロック範囲
- ⋯ 2次すべり
- ⊙ 崩壊土分布範囲



R-7ブロック全景



R-7ブロック近景

歩掛参考見積書

件名 浦山ダム管理施設補修設計業務(仮称)

名 称	主任技術者	技師長	主任技師	技師(A)	技師(B)	技師(C)	技術員	備 考
地すべり観測設備復旧設計								
地すべり観測設備復旧設計								現場内移動費含む
アンカー荷重計点検の事前調査								
図面電子化作成								
設計図の作成								
概算工事費算出								
照査								
報告書作成								

※ 1)各項目において、直接人件費の人数を記入して下さい。

2)現地踏査に必要な移動手段の費用及び点検等に必要機械費用は、労務費に含めて計上して下さい。

なお、上表は記入例であり、この他に必要な項目等がある場合は、適宜変更または追加してください。